

ひまわり



第22回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 新庄 すが江 様

- 2 敬老特集 ● 長寿番付2026
- 3 第34回職員合同研修会
- 4 ▶ 5 第13回利用者満足度調査の結果について
利用者満足度調査20年の変遷
- 6 ▶ 7 各施設夏祭り開催
- 8 連載vol.80 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 9 ▶ 12 各施設トピックス
- 13 福寿園ニュース
- 14 たぶトピ
家族会日より
- 15 連載
 - 私の推し活
 - 祝出産! ベイビーちゃんいらっしゃ〜い
 - 4コマまんが フクちゃん
- 16 はぐくむ会社会還元事業ご案内
秋のフェスタご案内

このたびの令和8年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

189号

令和8年9月10日



祝敬老
おめでとうございます

お健やかに敬老の日を迎えられますことに、
心からお慶び申し上げます。

祝敬老

福寿園 長寿番付 二〇二五

令和八年秋場所
行司古田周作

年齢はすべて令和八年八月末日現在です。
(敬称略)

西

[illegible]

同十六	同十五	同十四	同十三	同十二	同十一	同十	同九	同八	同七	同六	同五	同四	同三	同二	同
ハミヤ	びまわの壱	みなみ	美	びまわの壱	まきの壱	まきの壱	九花の壱	八花の壱	七花の壱	六花の壱	五花の壱	四花の壱	三花の壱	二花の壱	一花の壱
銘水	小坂	板倉	森下	伊藤	竹田	寺澤	中嶋	杉浦	中村	松嶋	山下	美子	美子	美子	美子
啓示	光子	松枝	ちよ子	文子	かず子	ふしの	敬雄	や子	アイ	一子	一子	一子	一子	一子	一子
一〇〇歳二ヶ月	一〇〇歳四ヶ月	一〇〇歳五ヶ月	一〇〇歳五ヶ月	一〇〇歳六ヶ月	一〇〇歳六ヶ月	一〇〇歳七ヶ月	一〇〇歳七ヶ月	一〇〇歳七ヶ月	一〇〇歳五ヶ月	一〇〇歳六ヶ月	一〇〇歳六ヶ月	一〇〇歳六ヶ月	一〇〇歳六ヶ月	一〇〇歳六ヶ月	一〇〇歳六ヶ月

同十四	同十三	同十二	同十一	同十	同九	同八	同七	同六	同五	同四	同三	同二	同	十
武豊	甲原の里	千のあき里	東海	甲原の里	東海	きぬうら	びまの街	田原	豊田	みなみ	千のあき里	田原	田	一
長田	伊藤	磯部	大河	近藤	花井	竹内	秋田	河邊	湯川	久松	横田	渡邊	稲垣	
サワ工	しま	工	雪江	多鶴子	生水	きみ子	とし	みつ子	カキ	うめ	富有	久子	道子	
九八歳八月	九八歳九月	九八歳九月	九八歳九月	九八歳十月	九八歳十月	九八歳十月	九九歳二月	九九歳四月	九九歳五月	九九歳七月	九九歳九月	九九歳九月	九九歳二月	

東

横綱(重田)田中むやう(八歳)内
大関(三浦)杉浦清子(四歳)内
大関(みなみ)伊藤美鶴(四歳)内
関脇(むらさき)服部一子(三歳)内
小結(東海)森文子(三歳)内
前頭(一)遼美小久保千里子(三歳)内
同(二)遼美杉浦朝子(三歳)内
同(三)花の里大谷美八子(三歳)内
同(四)花の里木村毅(三歳)内

同十六	同十五	同十四	同十三	同十二	同十一	同十	同九	同八	同七	同六	同五	同四	同三	同二	同一
びまわち	原ゆの里	豊田	美河台	きぬちの	くさきの里	ケヤ武豊	びまわち	八田原	七みなみ	六田原	五くさきの里	四杉浦	三ゆり	二あき子	一
荒川	塩岩	山本	八千代	太田	久米	小林	龍田	銘本	大岡	伊藤	杉浦	ゆり	あき子		
錦核	すぎ	てる	友二	友二	あき子	ミツ	稱眞	美子	幼	子	子	子	子		
〇〇歳二ヶ月	〇〇歳五ヶ月	〇〇歳五ヶ月	〇〇歳六ヶ月	〇〇歳六ヶ月	〇〇歳七ヶ月	〇〇歳十ヶ月	〇一歳〇ヶ月	〇一歳〇ヶ月	〇一歳五ヶ月	〇一歳八ヶ月	〇一歳十ヶ月	〇一歳十ヶ月	〇一歳十ヶ月		

同十四	(田原)	鈴木和子 九八歳八月
同十三	(東海坂)	昭二 九八歳九月
同十二	(花の里)	落合しも 九八歳九月
同十一	(田原)	中山和 九八歳九月
同十	(方太)	佐藤セツ子 九八歳十月
同九	(豊田)	三宅ヨシ子 九九歳〇月
同八	(渥美渡會)	ふじ 九九歳〇月
同七	(豐田)	深見昭乃 九九歳三月
同六	(渥美井本)	きよ 九九歳四月
同五	(千のゑり)	榊原是なゐ 九九歳六月
同四	(ゴソウツク)	新行内愛子 九九歳七月
同三	(ひまわり邸)	岩月繁子 九九歳九月
同二	(東海)	小出君子 九九歳十月
同一	(一豊田)	三宅ふよ 一一〇歳〇月



講演する栗原恵氏

第34回 職員合同研修会開催

7月21日、ロワジールホテル豊橋にて、第34回職員合同研修会を開催しました。

式典では、永年勤続者の表彰に加え、「気づき大賞」、そして今回7年ぶりに復活した「笑顔大賞」の総選挙が行われ、長年にわたり福寿園を支えてきた職員への感謝と、日々の温かな関わりや笑顔の大切さを改めて共有しました。

古田理事長からは「中長期経営計画Vision2030の幕開け」と題した基調報告があり、地域課題の解決と持続的な事業運営を両立する「ローカル・ゼブラ」として地域とともに歩

永年勤続者表彰式



笑顔大賞表彰式



令和7年度 気づき大賞



金賞 山田竜太さん（養護盲福寿園）
銀賞 竹下大也さん（くすのきの里）
銅賞 黒瀬のあさん（木田の里）
〃 山口隆慈さん（みなみ福寿園）

むことや、福寿園のキャラクター「フクちゃん」のVチューバー化など、新たな挑戦についても紹介され、これからの福寿園への期待が膨らみました。また、20年にわたる利用者満足度調査の振り返りを通じ、利用者の声に向き合い続けることの大切さを再確認しました。

午後には、グリーンヒルみふね統括施設長の吉本洋氏から、平成28年熊本地震の実体験をもとに、災害対応や地域とのつながりについてご講演いただきました。奇しくもその約1週間後、令和8年熊本地震により吉本氏の施設も再び被災され、日頃からの備えの重要性を改めて胸に刻むこととなりました。

特別講演では、元バレーボール日本代表の栗原恵氏をお迎えし、「やっつけから後悔するか、やらなくて後悔するか」をテーマにお話しいただきました。華やかな競技人生の陰にあった努力や葛藤、周囲への感謝、そして自ら一歩を踏み出すことの大切さに、多くの職員が勇気をもらいました。

利用者満足度 調査の結果について



ご協力ありがとうございました

平成14年に始めた本アンケート調査も今年で13回目となりました。今回も特定非営利活動法人しんしろドリーム荘（愛知県新城市）に委託して、令和8年1月15日から3月31日まで、5,639名に郵送調査と訪問聞き取り調査を行い、3,754名の方から回答をいただきました。

養護・ケアハウスの安全対策・孤独対策と外出支援

全体を通じては、全事業種・全項目について、概ね満足という評価をいただきましたが、実に様々な改善要望も寄せられました。

養護に共通する不満は「食事」です。「生のフルーツをもっと出してほしい」、「食事が固い」、「味が薄い」等の要望が寄せられました。また「外出がしたい」、「友達が欲しい」という要望も多く、施設内で親しく話せる人がいない方も多いようです。

ケアハウスは、クラブ活動やデイサービスでのおしゃべりが楽しみに上がっており、自由に暮らしながらも、気のおけない友人との語らいをとても楽しみにしています。改善項目については浴室の安全策ほか設備・備品の修繕、定期的な食事の席替え等の要望、利用料金に対する疑問等がありました。また、いつまでここで暮らせるのかという不安を感じている方も多く見えました。施設内の手すり設置、バリアフリー化を進める一方で閉じこもり予防のための外出支援・デイ等介護サービス利用の紹介とともに入居者同士が親しくなる機会を今まで以上に増やし、ケアハウスで安心して長く暮らせるよう支援していきたいと思えます。

不満を言いやすい関係づくり

特養においては「食事が冷めている」、「オムツが冷たい」、「シャワーは寒い」等、食事・排泄・入浴等の基本項目における不満が寄せられました。また「忙しそうな職員に声をかけづらい」という意見も多く寄せられました。その一方でおしゃべりや行事が楽しめという声もあり、日々、おしゃべりをしながらケアをするように心がけ、ちょっとした頼み事や不満を言いやすい環境づくりをしていくことが改善の第一歩であると思えました。

また転倒・骨折予防の見守りセンサーや誤嚥予防の刻み食等、安全のための対策やケアが利用者のストレスになっており、安全性の確保と利用者の望む生活のギャップも垣間見えました。

満足度の高いグループホーム

グループホームは総体的に満足度は非常に高く、多くの方が食事やおしゃべりを楽しみ、将来に対する不安・憂いがなく、安心して生活していることが自由記述から伝わってきました。ただし入所間もない方や男性利用者が疎外感を感じていることもあるので、ユニットの男女比率に配慮が必要です。

ショートステイは、入退所日の滞在時間ほか、送迎時の気遣いのなさ、シャワートイレの設置等、様々な要望が寄せられました。またリハビリの満足度が大幅に上がった事業所もありましたが、リハビリや利用中の楽しみづくりは依然として事業所共通の課題です。ご家族の休養目的だけでなく、ご利用者に利用を楽しみにしてもらえよう改善に努めたいと思います。

デイサービスは満足度が全項目80%を超え、90%近い事業所もある一方で、多くの項目で不満が増加してしまった事業所もありました。また豊田地区においては送迎の乗車時間が長く、負担になっているという声もありました。利用中の楽しみも「おしゃべりやレクリエーションが楽しい」とあり、デイサービスにおいても満足度が高い事業所は利用者同士、また職員とのコミュニケーションがよくとれています。

入所者であれ、在宅利用者であれ、普段から気軽に要望や不満を言える関係が満足度アップの鍵であることは間違いなさそうです。

「やってみよう」から「参加へ

ヘルパーにおいては、ヘルパーと一緒にご利用者も掃除をしたり食事の器を選んだり、自立支援のため

の取り組みが好評でした。はじめは、「できないからサービスを頼んでいるのに」と感じてみえたご利用者も少しずつ家事に参加することで自信を取り戻し、ヘルパーの訪問を楽しみにして下さっているようです。しかしその一方で「人によっては大雑把」、「時間を守って」とヘルパーの質を問われる指摘もいただきました。ヘルパーに限らず、全事業種でサービスの質の標準化・職員教育の見直しが課題です。

利用者中心のアセスメント

ケアプランセンター、地域包括支援（高齢者支援）センターにおいては多くの感謝の言葉をいただいた一方で、ご家族の意向確認はするものの、肝心のご利用者本人と話をする機会がないケースもあり、利用者ご本人から「自分も話をしたい」という要望が寄せられました。『ご利用者中心』という介護の基本を忘れないようにいたします。

今後は皆様から頂いたアンケートにしっかりと目を通し、改善の経緯、結果につきましても各施設・各事業所からご報告させていただきます。貴重な時間を割いてアンケートにご協力くださった皆様に改めてお礼を申し上げます。

利用者満足度調査20年の変遷

福寿園では平成14年の第1回調査開始から24年間、2年に一度の「利用者満足度調査」を継続してきました。この度、第13回報告書の発刊に合わせ、これまでの全12回の結果を多角的に検証した「20年の変遷」を一冊にまとめました。

調査は、介護保険制度の施行に伴いご利用者が自らサービスを選択する「契約」の時代に入ったことを機に、客観的なサービス評価を目指して職員の手集計から始まりました。

現在は外部委託や生成AI分析を導入するまでに進化し、規模も第1回の33事業所（配布数2,286名）から第12回の82事業所（同5,788名）へと大幅に拡大しています。

この間、ご利用者の高齢化・重度化が進み、特養の平均年齢は87.5歳に上昇、90歳以上が4割を

超えるなどニーズは高度化しています。

結果を振り返ると、職員の態度や日々の「会話」への満足度は長期的に上昇しており、皆様との温かい信頼関係が確認されました。一方で、安全を最優先するあまりセンサー等で行動を制限してしまうことへの懸念や、高い満足度の裏で「楽しみがない」と孤独を感じる方の存在など、改善すべき課題も浮き彫りになりました。

私たちは、これまでの「安心」という土台を大切にしながらも、ご利用者の「自分で動きたい」「自由に過ごしたい」というお気持ちに寄り添い、自分らしく生きがいを感じられる「のびやかな暮らし」の実現を目指します。これからも皆様との対話を大切に、原点である「大家族の理想郷」の実現に向け邁進してまいります。

令和8年度 夏祭り開催

今年も各施設で、夏の恒例行事「夏祭り」が開催されました。太鼓の音が響くと、浴衣姿の皆さんがやぐらを囲み、盆踊りの輪が広がりました。飲食バザーやゲームコーナー也大盛況で、会場には子どもたちの楽しそうな声や、皆さんの笑顔があふれていました。ご家族や地域の皆様、ボランティアの皆様とともに、世代を超えて楽しい夏のひとときを過ごしました。ご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



ひまわりの街



養護盲福寿園・田原福寿園



東海福寿園



武豊福寿園・ケアハウス 武豊



みなみ福寿園・ケアハウスみなみ



豊田福寿園



ケアハウスきぬうら



昭和の里



渥美福寿園



ひまわり邸



くすのきの里

各施設の夏祭り日程

- 7/18 昭和の里 昭和の里祇園祭
- 7/25 渥美福寿園 夏祭り
- 7/26 東海福寿園 夏祭り
- 7/31 養護盲福寿園・田原福寿園 納涼祭
- 8/1 花の里 花宵まつり
- 8/1 豊田福寿園 夏祭り
- 8/2 武豊福寿園・ケアハウス 武豊 納涼大会
- 8/7 みなみ福寿園・ケアハウスみなみ 夏のみなみ横丁
- 8/8 ひまわりの街 夏!まつり
- 8/9 くすのきの里 くすのきまつり
- 8/22 ケアハウスきぬうら 地域交流フェスタ
- 8/28 ひまわり邸 夜邸会



花の里

連載 80

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



中川 和広さん
(武豊福寿園デイサービス)

プロフィール

生年月日：昭和27年9月生
年 齢：74歳
趣 味：釣り
好きな食べ物：マグロの刺身

僕は愛知県美浜町で6人兄弟の5番目として生まれました。実家は漁業を営み、高校卒業後は大学へ進学しましたが、親を亡くしたことをきっかけに進学を断念し、家族を支えるため社会へ出ることを決意します。20代のころ三重県四日市市で萬古焼の仕事に就きましたが、幼馴染の弟が務めていた鈴鹿市の洋食レストラン「レマン」を訪れるようになり、

そこで「自分も料理の道に進みたい」という思いが芽生え、料理の世界へ転身しました。「レマン」で調理の基礎を学び、さらに系列店である四日市の寿司店「七福」で和食の技術を習得。その後、地元・愛知県に戻り、豊浜の高級料理店で約10年間の修業を重ね、34歳で現在の美浜町河和に自身の店、鮨「なか川」を開くことになりました。

開業した当初は思うようにお客様

が集まらず不安な毎日でしたが、「何とか店を続けたい」という一心で、地元の知り合いに相談し、その縁から近隣の会社へ仕出し弁当を配達

することになり、それが口コミで評判を呼びました。やがて総合病院やパチンコ店、運送会社などから注文が入るようになり、多い時には120食もの弁当を作るまでになりました。お寿司についても、「なか川」の味を追い求め、独自の寿司ネタを研究し続けました。特に生のシヤコを使った握りは多くのお客様に好評をいただき、中日新聞で紹介されるなど話題となりました。

地元の寿司店から作り方を教えてほしいと相談を受けることもあり、地域に根差したお店として、とてもやりがいを感じる毎日でした。有名

なスポーツ選手や映画俳優さんに隠れ家的なお店として使っていたことも印象に残っております。

母ちゃんと二人三脚で切り盛りした「なか川」は、決して平坦な道のりではありませんでした。平成29年に店をたたむまで、たくさんの出会いと温かい思い出に恵まれました。店を閉じて約10年が経ち、先日、デイサービスで再び寿司を握る機会がありました。使い慣れた寿司桶を手には、片手ではありましたが寿司を握りました。かつてのような手さばきではなかったかもしれませんが、一貫一貫にこれまで歩んできた人生



僕が苦勞して建てたお店



母ちゃんと2人



デイサービスで押し寿司を作る

がよみがえり、懐かしい思い出とともに寿司職人として過ごしてきた日々を改めて感じる事ができました。デイサービスでは幼馴染とも再会を果たすことができたのもうれしく思います。これから自分に何ができるのか、ゆっくり考えながら過ごしたいとも思います。

各施設 TOPICS トピックス

花の里グループホーム

夏のたのしみ

ベランダのプランターで育てているきゅうりを収穫しました。夏になりすくすくと成長し、収穫の時期を迎えています。次々と実をつけるきゅうりに、皆さんも楽しみながら収穫をしています。今回は、



その場で塩もみにして皆さんでいただきました。みずみずしく新鮮なきゅうりはとてもおいしく、皆さん「おいしいね」と笑顔で味わっていました。自分たちで育て収穫した野菜をみんなでいただく、楽しいひとときとなりました。

みなみ福寿園 中学生が夏祭りで大活躍

キッズボランティアとして、末野原中学校の生徒124名が参加されました。グループに分かれてご利用者とお話をしながら、車いすの空気入れな



どの環境整備や、みなみ横丁に向けた準備などをしていただきました。そして迎えた横丁の当日は、屋台スタッフとしても大活躍！元気な声でご利用者に声をかけたり商品を渡したり、ゲームコーナーを担当したりなど、笑顔いっぱいでお手伝いしてくれました。子どもたちの明るく元気な姿に、ご利用者も自然と笑顔になり、世代を超えた交流が生まれ、楽しい夏のひとときとなりました。これから地域と連携しながら交流を続けていきたいと思っています。

ひまわりの街デイサービス

季節を彩る手作り飾り

毎月、季節に合わせた施設内の飾りを、ご利用者と職員が一緒に制作



しています。八月は、施設で開催される「夏！まつり」のメインの飾りとなるランタンを製作しました。「こはこの色にしたらきれいだよ」と相談しながら、色や形を工夫して一つひとつ丁寧に仕上げていきました。お祭りの当日は、皆さんが作った飾りが会場を華やかに演出し、いつもとはひと味違うお祭りの雰囲気味わうことができました。

季節ごとに変わる、皆さんの素敵な作品。ひまわりの街へお越しの際は、ぜひ飾りにも注目してください！

ケアハウスパシフィック

あの日の歌がよみがえる

真夏の日差しが照りつける午後、渥美混声合唱団様によるコンサートが開催されました。会場では、開演前から楽しみに待つ、たくさんの方の入居者の姿が！和やかな雰囲気包まれながら、始まりの瞬間を迎えました。演奏中は懐かしの歌謡曲など聞きなじみのある曲目が続き、合唱団の皆さんと一緒に歌声を重ねたり、リズムを取って、心も体もリフレッシュ！自然と拍手が広がり、音楽を通じて、笑顔に包まれた温かな時間となりました。



木田の里

福寿の湯の裏側に迫る！

木田の里キッズボランティア事業として『福寿の湯の裏側に迫る』と

題し、東海市内の6中学校を対象に福寿の湯の体験見学を行いました。普段は見ることのできない機械室や作業室に目を輝かせながら回り、利用者の大切な仕事であるタオルたたみを直に体験してもらいました。参加者の中には福寿の湯・つる福が障がい者の就労を支援

する福祉施設であることを知らない人も多く、今回の体験を通して、施設のことはもちろん、「ふくし」について考えるきっかけになっていると幸いです。



グループホームちた福寿の里

暑さに負けず、気合十分!!



7月22日に夏の運動会を開催しました！初めに利用者の皆さんによる選手宣誓を行い、気合十分でスタートしました。種目は「ビニールテープ風船運び」「バトンつなぎ」「玉入れ」の3種目。皆さん高得点を目指して、一生懸命に取り組みました。応援にも熱が入り、会場は笑顔と歓声で大盛り上がり！最後にはメダルの授与も行い、嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。たくさん体を動かし、楽しい夏のひとときを過ごすことができました。

ケアハウスきぬうち

体操クラブでフレイル予防

人気のあるクラブ活動の一つが『体操クラブ』です。職員が講師となつてストレッチやボールを使った体操などを行っています。座ってできる体操ということで、シルバーカーを使用している入居者の方も多く参加されています。

「みんなとやるから頑張れるよ」「座ったままでもしっかり運動できるのがいいね」と、他のクラブにはあまり参加されない方も、体操クラブには参加し楽しまれています。これからも元気に過ごせるよう、皆と一緒にレッツトライ!!



昭和の里

インスタ始めました!

7月よりお店公式のInstagram

を開設しました。これまで「今日は営業していますか?」というお問い合わせや、急なお休みの際にご迷惑をおかけすることがありまし

た。そこで、営業日や臨時休業のお知らせに加え、ご来店いただかないと分からなかったランチメニューなどを発信しています。

今後は、れす
とらんタやけ、
ぱん工房小やけ
キッチンカー
Cafe2910クレ
ープの店舗情報
なども随時お届け
していきます
ので、ぜひご覧
ください。





夏本番に向け、食堂ホールで衣料品店オーバヤシの移動販売が行われました。自分に衣類を合わせ、「これどう?」と職員に見てもらいながら、みなさん夏物衣料をじっくり選んでおられました。衣類に加え、お菓子も豊富に取り揃えており、意外にもお菓子が人気でした。ウィンドウショッピングのつもりで来たと話していた方も、最後にはお菓子を購入していました。普段見かけないお菓子が並んでおり、つい手が伸びてしまったそうです。魅力的な商品で溢れており、みなさんすでに次の来訪を楽しみにされています。

どれにしようかな♪

養護盲福寿園

ロビーでミニコンサート

豊田福寿園

元職員の方による、心地よいピアノの音色と癒される歌声がロビーから聞こえてくると、居室から少しずつ皆さんが集まってきました。いつの間にかミニコンサートの始まりです。「どんな曲がいいですか?何でもいいですよ」と、皆さんのリクエストにも笑顔で応えてくださいます。「青い山脈!」とリクエストの声がお馴染みの曲が始まると、入居者の皆さんも大きな声で一緒に歌われ、ロビーは明るく和やかな雰囲気になりました。



ハンドマッサージで癒しを

渥美福寿園デイサービス

先日、デイサービスでハンドマッサージを行いました。手のひらや指でゆつくり丁寧にマッサージすると、「気持ちいいね」「手が軽くなった」と皆さんからうれしい声を聞くことができました。マッサージをしながら、昔の話を聞かせてくださったり、自然と笑顔湧き出る時間を過ごしていただきました。やさしいフルーツの香りに包まれながらのハンドマッサージで、心と体がリフレッシュ!今後も癒し、癒される時間を大切にしていきたいと思います。



お相撲さんがやってきた!

東海福寿園

大相撲名古屋場所の期間中、東海市を宿舎・稽古場の拠点としている鍛冶山部屋の力士・呼出のみなさんが慰問に来てくださいました!呼出さんによる生の呼び上げを披露していただき、その力強い声がホールいっぱいに響き渡りました。さらに、目の前で見ると



力士のみなさんの四股踏みは迫力満点!その姿に、ご利用者・職員一同、大興奮でした。その後は、カラオケや写真撮影などを一緒に楽しみ、力士のみなさんと直接ふれあう貴重な時間となりました。ご利用者のみなさんからはたくさん笑顔が見られ、会場は終始、和やかで明るい雰囲気になりました。鍛冶山部屋のみなさん、素敵な時間をありがとうございました!

田原ゆの里デイサービス

ひまわりに囲まれて

夏本番を迎えた七月の終わりに、ひまわりを見るためにお出かけしました。辺り一面、太陽に向かって咲いているひまわり



を見て、ご利用者も「きれいに咲いているね」「私の身長よりも高いひまわりだね!」とお話しながら楽しまれていました。ひまわりのそばやフオトスポットで記念撮影をして、夏ならではの景色を満喫しました。暑さが続く毎日ですが、青空とたくさんのひまわりに囲まれて心晴れやかになるひとときとなりました。

くすのきの里

わくわく買い物

入居者さんと、『あかのれん』に買い物に出かけました。店内では欲しい物目当てに「どれにしようかな」「これが欲しい」と自ら商品を手にとって、わくわく楽しそうに選んでいる様子。買い物をした後は、アイスクリームや鯛やきを美味しく召し上がり、「美味しいね」と満



足な笑顔。終始和やかな雰囲気の中で過ごされ、気分転換になり、利用者同士・職員との交流を楽しまれる有意義な時間となりました。

ひまわり邸

「麦の会」
学生ボランティア



夏休み真っ只中の8月、崇化館中学校の学生ボランティア「麦の会」の皆さん7名が来てくれました。子ども食堂やデイサービスでのレクリエーションのお手伝い、グループホームではハイビスカスの飾り作りを行いました。「何色にしましょうか?」と相談しながら、利用者の皆さんと楽しく作ることができました。今回の活動をきっかけに、今後も施設の催し物に参加していただけたらと思います。

武豊福寿園

本番が待ち遠しい! 納涼大会に向けて

8月2日に開催する武豊福寿園納涼大会に向け、踊り手の豊文会の皆さまをお迎えし、盆踊りの練習を行いました。本番さながらの太鼓と踊りで、会場は笑顔に包まれました。また、キッズボランティアの小学生が入居者の皆さんへ縁日を開催し、太鼓の演奏でも大活躍。子どもたちの交流を通して、夏祭りの雰囲気を感じることができました。



田原福寿園

大正琴「ゆうすげ」演奏会



郷愁を誘う大正琴の演奏に合わせ、ホールに集った入所者の皆さんの歌声がひとつになって、「青い山脈」「ふるさと」「かごの鳥」などの懐かしい曲が披露されました。昔を思い起こし、どなたの表情にもこやかな笑顔で「ゆうすげ」の皆さまとの交流を楽しみました。結びは、「お富さん」の合唱で、演奏会はお開きとなりました。

大相撲名古屋場所団体観戦



今年もIGアリーナで開催された大相撲名古屋場所を観戦。力士同士がぶつかり合う「ドン!」という音が響き渡り、その迫力はテレビでは味わえないほど。大きな懸賞旗が土俵を回る様子や、勝負が決まった瞬間に沸き上がる歓声に、会場は熱気に包まれていました。観戦の合間には相撲観戦ならではの弁当を味わい、彩り豊かなおかずとともに名古屋場所ならではの風情も満喫。思い出深い一日となりました。

バンテリンドームナゴヤ野球団体観戦



毎年恒例のバンテリンドームへ野球観戦に行ってきました! クライマックスシリーズ進出をかけた激しい順位争いが行われる中、参加者も試合前から気合十分。当日は「ポケモンベースボールフェスタ」と題したイベントも開催され、5体のピカチュウが登場するなど、会場は大いに盛り上がりました。試合は、4回にサノー選手の2ランホームランが飛び出し、応援席は大歓声に包まれました! 今回初めて野球観戦をする外国人スタッフも参加。みんなで声援を送り、部署や国籍を越えて一緒に盛り上がる事ができました。暑さを吹き飛ばすような熱戦と、みんなで応援する一体感を味わえ、楽しいイベントとなりました!

干し芋ジェラートが完成しました!

あいふくファクトリーの干し芋「ふくいも」と、人気ジェラート専門店の「バロック」さんとのコラボレーションから、『干し芋ジェラート』が誕生しました。干し芋本来の自然な甘みと濃厚な味わいを、なめらかなジェラートにぎゅっと詰め込んだ自慢の一品です。木田の里の「つる福」やたっぷくの「カフェ2910」でご賞味いただけます。



(仮称) いろどりの里 起工式

令和8年6月29日に豊橋市神野新田町宮前地内で『複合福祉施設いろどりの里』の起工式を行いました。この日は6月末の梅雨の時期でしたが、天候にも恵まれ、豊橋市高齢福祉課長様はじめ、地元自治会長様に参列いただきました。いろどりの里は、認知症対応型共同生活介護、デイサービス、就労継続支援センターを運営する予定で、令和9年春に開設予定です。



3年目研修会

7月3日、シーパレスリゾート豊橋において、入社3年目の職員を対象とした3年目研修会を開催し、43名が参加しました。仕事に慣れ、自分で判断して行動する場面が増える一方、後輩への指導や今後の働き方など、新たな役割や悩みも生まれる時期です。



当日は、コミュニケーションや認知症ケア、事例検討など、グループワークを中心に実施。施設長の入社3年目当時の経験談にも耳を傾けながら、所属や職種を越えて意見を交わし、自分自身の役割やこれからの目標を見つめ直しました。参加者からは「同期の頑張りを知り励みになった」「自分に求められる役割や責任を改めて考えることができた」といった声も聞かれました。研修後は施設長も交えて懇親会を行い、同期との再会を喜びながら交流を深める一日となりました。

「ありがとう」をカタチにしました!

キッズボランティアに参加した子どもたちの活動をたえ、福祉にふれた経験を思い出として残してもらえよう、「キッズボランティア活動証明書」を作りました。あわせて、記念品として福寿園マスコットキャラクター「フクちゃん」のマグネットも3種類用意。活動の達成感や、福祉を身近に感じるきっかけになればうれしいです。



たっぷくこどもキャンプ

田原福祉グローバル専門学校

今年で5回目となる『たっぶくこどもキャンプ』を開催しました。田原市内の小学3年生以上の児童が参加し、今年は『魔女に封印された福祉用具を取り戻す冒険』をテーマに、さまざまな福祉体験に挑戦しました。体験をすると福祉用具のカードがもらえ、子どもたちは「どんなカードかな?」「これ知ってる!」と興味津々。友達同士でカードを交換するなど、笑顔いっぱいを楽しみながら、たくさんの福祉を見つける一日となりました。



日本語学科 就職面談開催

田原福祉グローバル専門学校



本校日本語学科では、卒業後に介護施設への就職を目指す留学生を対象に、就職面談会を実施しました。

卒業後の就職先が決まる大事な面談。介護士として働きたいという強い思いや自分の良さを伝えようと、何週間も前から準備をしてきました。当日は、真剣な表情で面談に臨む学生たちの姿から、その緊張感がこちらにも伝わってきました。卒業後は特定技能として、それぞれの施設で活躍してくれることを期待しています。

家族会だより

各施設で家族会や家族親睦会の活動を報告します。



渥美福寿園
環境美化活動

方々が来園され、にぎやかに行うことができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

くすのきの里
すずらん・ぼたん
ユニット家族会

7月12日にすずらん・ぼたんコンニト合同の家族会を開催しました。昼食にいなり寿司や海老・茄子・南瓜の天ぷら、木田の里名物「つる福うどん」をバイキング形式でご用意。午後には入居者さんによるすいか割りと、職員のすいか早食い大会に入居者さんも参加して、大盛り上がり。甘いすいかを味わいながら、ご家族と入居者の皆さんの笑い声があふれる楽しいひとときとなりました。



福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.24

「新人介護士」 つりちゃん



連載

私の推し活

みなみ福寿園 職員 神谷 悠太



私の推しは、鉄道です。一言で鉄道と言っても色々ありますが、私の推し活は、実際に乗って楽しむ「乗り鉄」、それを写真に撮って楽しむ「撮り鉄」です。

鉄道推しになったのは、幼いころから父と一緒に電車に乗せてくれたからです。なので、なんといっても子供のころから名古屋鉄道が一番です。地元走るカッコいい電車へのあこがれから、今では、全国の様々な電車に「乗り」に、「撮り」に出かけています。今年は推し活休暇を使って、2027年引退予定の500系の新幹線に記念乗車するのを楽しみにしています。



連載

祝出産！ ベイビーちゃん、いざっしや〜



新しい家族が
増えました

東海福寿園 職員

勝野 恵

《現在育児休業中》

お子さんのなまえ
ゆう だい

由大ちゃん(男の子)

月齢 8カ月 チャームポイント 大きいです。

特徴 たくさん笑い、いつもニコニコ笑顔です。ハイハイでどこまでもママについていきます。ママの背中が大好きです。

第8回

感謝の集い

～みんなではぐくむ福祉の心～

入場
無料

[予約不要]

●●福祉講演会●●

ふつうの人って、 どんな人？

エッセイスト

メディアパーソナリティ

(元TBSアナウンサー) 小島慶子さん

自身の発達障害(ADHD)の公表や育児・介護の経験をもとに、誰もが生きやすい社会について発信。2014年にオーストラリアに教育移住し、10年余りの往復する生活を経験。自身の経験に裏打ちされた鋭くも優しい視点から、福祉や人権をテーマにした心に響く講演を全国で行っています。

令和8年

10月18日 日

午後1時30分～午後4時10分(開場 午後1時)

武豊町民会館 (ゆめたろう)
プラザ

輝きホール 愛知県知多郡武豊町字大門田 11

事前申込で特典あり

電話(0569-72-8811)またはQRコードで
予約した方に当日もれなくささやかな
粗品プレゼント!



お問い合わせ TEL:0569-72-8811(武豊福寿園)

主催/ 社会福祉法人 福寿園 福寿園をはぐくむ会「未来」 後援/ 武豊町、武豊町議会、武豊町教育委員会、武豊町社会福祉協議会

第1部 午後1時30分～

第12回「福祉の心」絵手紙表彰式

福寿園の施設がある市町の小学生が
福祉や思いやりの心をテーマに絵手紙を描く活動です。
愛知県内の渥美半島、豊田市、武豊町で行われており、
毎年、個性的であたたかい作品がたくさん寄せられています。

日本福祉大学附属高等学校
和太鼓部演奏

第2部 午後3時～

講演 ふつうの人って、どんな人？

エッセイスト / メディアパーソナリティ

小島 慶子氏

秋のフェスタ

開催予告

どなたでも入場は無料です。
お誘いあわせのうえ、ご来場ください。
みなさんのお越しをお待ちしております。

養護盲福寿園・田原福寿園

11月1日(日) 11:00～15:00

福寿園野外フェス2026
～in芝生広場～

- 福祉の心絵手紙表彰 ●飲食バザー
- ゲームコーナー ●福祉体験 等

松原のぶえ歌謡ショー



ひまわりの街

10月25日(日) 11:00～

ひまわりフェスタ

- 福祉の心絵手紙表彰
- 福祉事業所等による
飲食バザー
- 地域で活躍する方々による
ステージ 等



令和8年9月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園

■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.189 16